

# 中期経営計画2021

(計画期間令和3年度～令和7年度)

あなたに、ベスト・ウェイ。

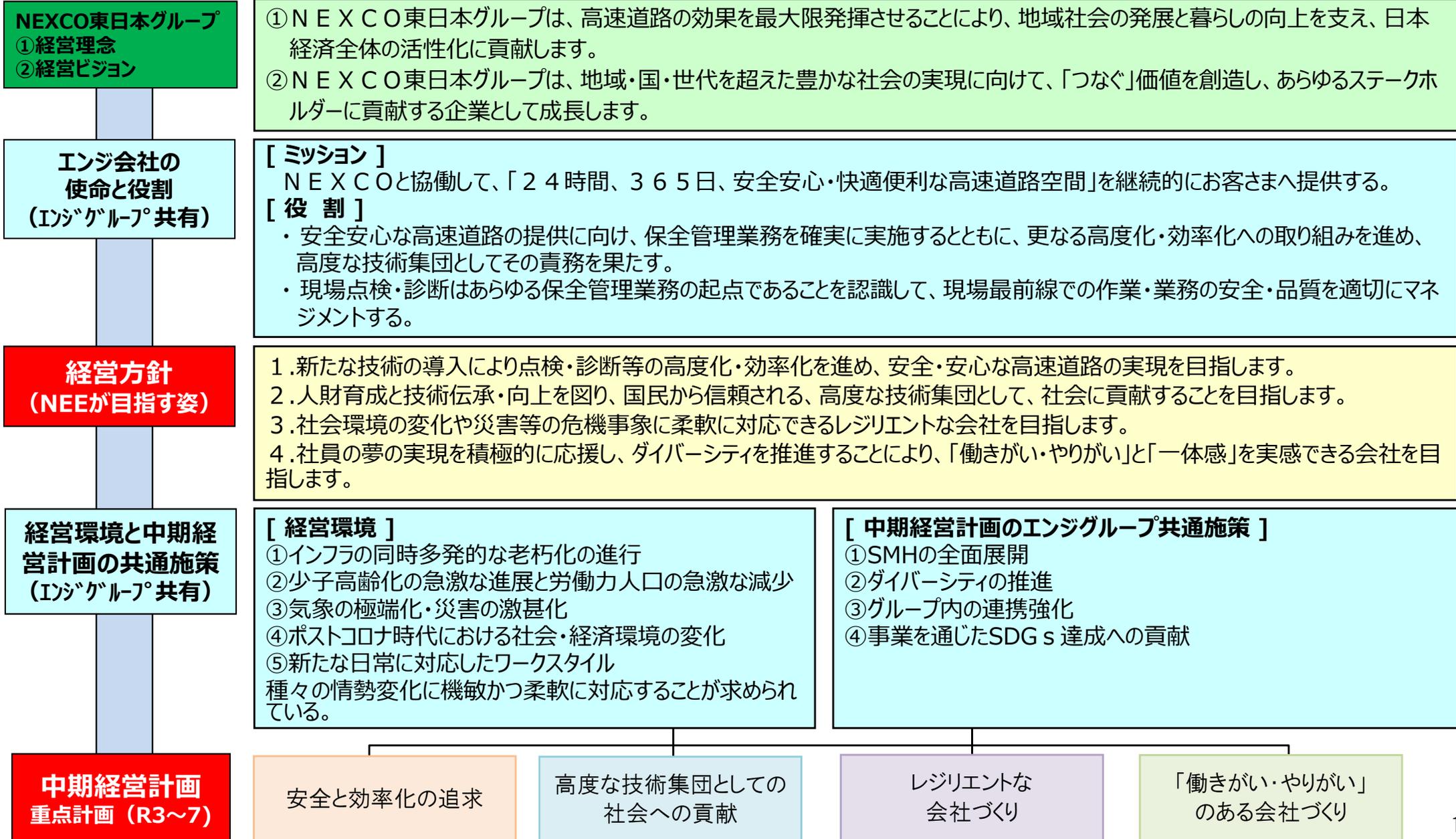


株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

1-1.	中期経営計画におけるNEE経営管理体系	.....	1
1-2.	NEEの行動憲章	.....	2
1-3.	重点計画及び行動計画	.....	3

# 1-1. 中期経営計画におけるNEE経営管理体系

- ◆ネクスコ東日本グループの経営理念、経営ビジョンを共有し、それらを踏まえたエンジの使命と役割をエンジグループとして共有
- ◆経営方針は、長期ビジョン(グループとしてなりたい姿)をブレイクダウンし、NEEが目指す絵姿を解り易く示したもの



## NEE's Way

(行動の道標)

『Good road Good people』

～快適な道路を 信頼できる仲間と～

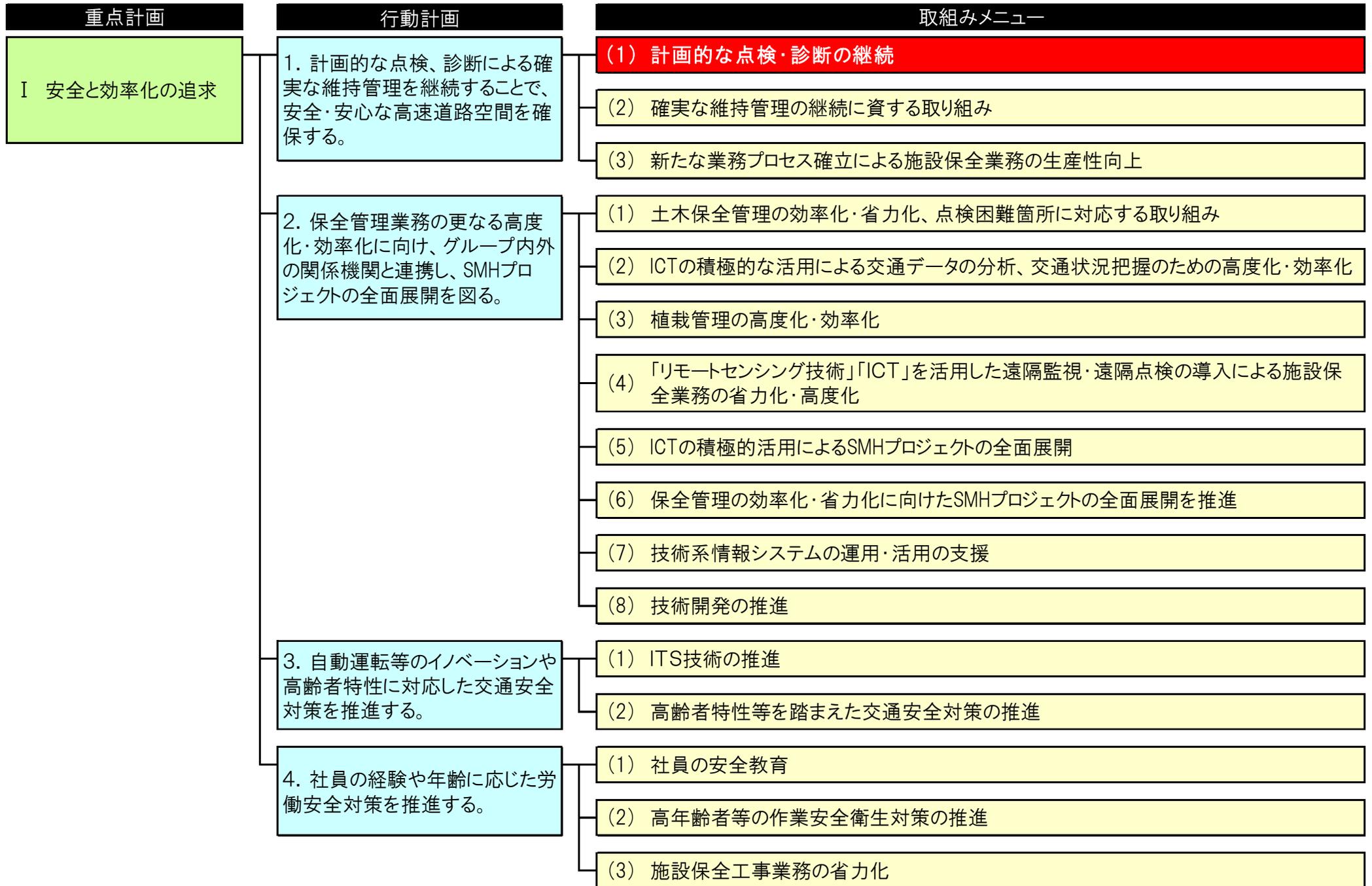
私たちは、みんなの高速道路、みんなの毎日、みんなの笑顔を守るため、  
チームNEEとしてチャレンジし続けます。

- 1 私たちは、相手の気持ちを大切に、感謝の心を忘れず、家族、友人に誇りを持てる行動をします。
- 2 私たちは、点検・診断が、あらゆる保全管理の起点であることを認識し、誠実に自らの責務を果たします。
- 3 私たちは、高速道路のプロ集団として、あたりまえの安全をより確実にするため、技術の革新と築き上げたノウハウの伝承に努めます。
- 4 私たちは、一人ひとりの個性を尊重し、年齢・性別・職種等あらゆる垣根を越えて助け合い、仕事の質と効率を高めます。
- 5 私たちは、笑顔があふれる働きがいのある職場を創るために、多様で柔軟な働き方ができるよう支え合い、仕事も生活も楽しみます。

# 1-3. 重点計画及び行動計画

重点計画	行動計画	関連するSDGs 17目標	
I 安全と効率化の追求	1. 計画的な点検、診断による確実な維持管理を継続することで、安全・安心な高速道路空間を確保する。		<p>(重点計画 全てに共通)</p> 
	2. 保安全管理業務の更なる高度化・効率化に向け、グループ内外の関係機関と連携し、SMHプロジェクトの全面展開を図る。		
	3. 自動運転等のイノベーションや高齢者特性に対応した交通安全対策を推進する。		
	4. 社員の経験や年齢に応じた労働安全対策を推進する。		
II 高度な技術集団としての社会への貢献	1. 研修制度やOJT体制の更なる充実化を図り、グループ全体の人財育成と技術伝承に貢献する。		
	2. お客様の快適・便利に資する技術開発や支援を推進する。		
	3. 研究機関や地域社会と連携し、環境保全に資する調査、研究及び活動を推進する。		
III レジリエントな会社づくり	1. 大規模災害やポストコロナ時代における社会・経済環境の変化に対応するため、リスクマネジメントの一層の強化を図る。	 	    
	2. 持続的な企業価値向上のため、コーポレートガバナンスを強化し、高い企業倫理を保持する。		
	3. 中長期の組織・要員の最適化検討に基づいた採用計画を継続し、経営基盤の強化を図る。		
	4. 社内システムの改善や業務のデジタル化を進め、生産性向上を推進する。		
	5. 知的財産権の取得と自社開発製品の販売を積極的に展開する。		
IV 「働きがい・やりがい」のある会社づくり	1. 社員一人ひとりが役割を認識し、自主性や主体性を持って仕事に取り組める環境を整備する。	  	
	2. 新たな日常に対応し、社員と家族が心身ともに健康を実感できる健康経営を推進する。		
	3. 多様な働き方に資する制度を拡充し、ダイバーシティを推進する。		
	4. 「個人の成長」が「組織の成長」に連動する人財育成体制を構築する。		
	5. 高度な国家資格等の取得支援のための取り組みを推進する。		

# I. 安全と効率化の追求



# 1. 計画的な点検、診断による確実な維持管理を継続することで、安全・安心な高速道路空間を確保する

## (1) 計画的な点検・診断の継続

### ◆ 省令点検の平準化を推進し、確実な点検を実施

- 省令点検2巡目(R1～R5)を確実に完了させ、3巡目(R6～)平準化も併せた効率的な点検計画を策定、実施する。

#### 【詳細点検】

工 種	単 位	2巡目					3巡目	R3-R7計
		R3	R4	R5	R6	R7		
道路橋(橋梁)	橋	632	550	560	467	625	2,834	
	進捗(累計)	(%)	60%	80%	100%	17%	41%	(2,676)
道路橋(カルバート)	基	145	209	91	313	178	936	
	進捗(累計)	(%)	70%	91%	100%	34%	54%	(917)
トンネル	チューブ	53	57	81	68	39	298	
	進捗(累計)	(%)	54%	73%	100%	24%	37%	(288)
シェッド	基	0	0	0	1	0	1	
	進捗(累計)	(%)	100%	100%	100%	100%	100%	(1)
大型カルバート	基	162	198	94	145	163	762	
	進捗(累計)	(%)	63%	88%	100%	20%	42%	(727)
横断歩道橋	橋	3	0	0	0	4	7	
	進捗(累計)	(%)	100%	100%	100%	100%	80%	(5)
門型標識	基	210	222	212	112	153	909	
	進捗(累計)	(%)	54%	78%	100%	13%	32%	(833)

※(資産数量)

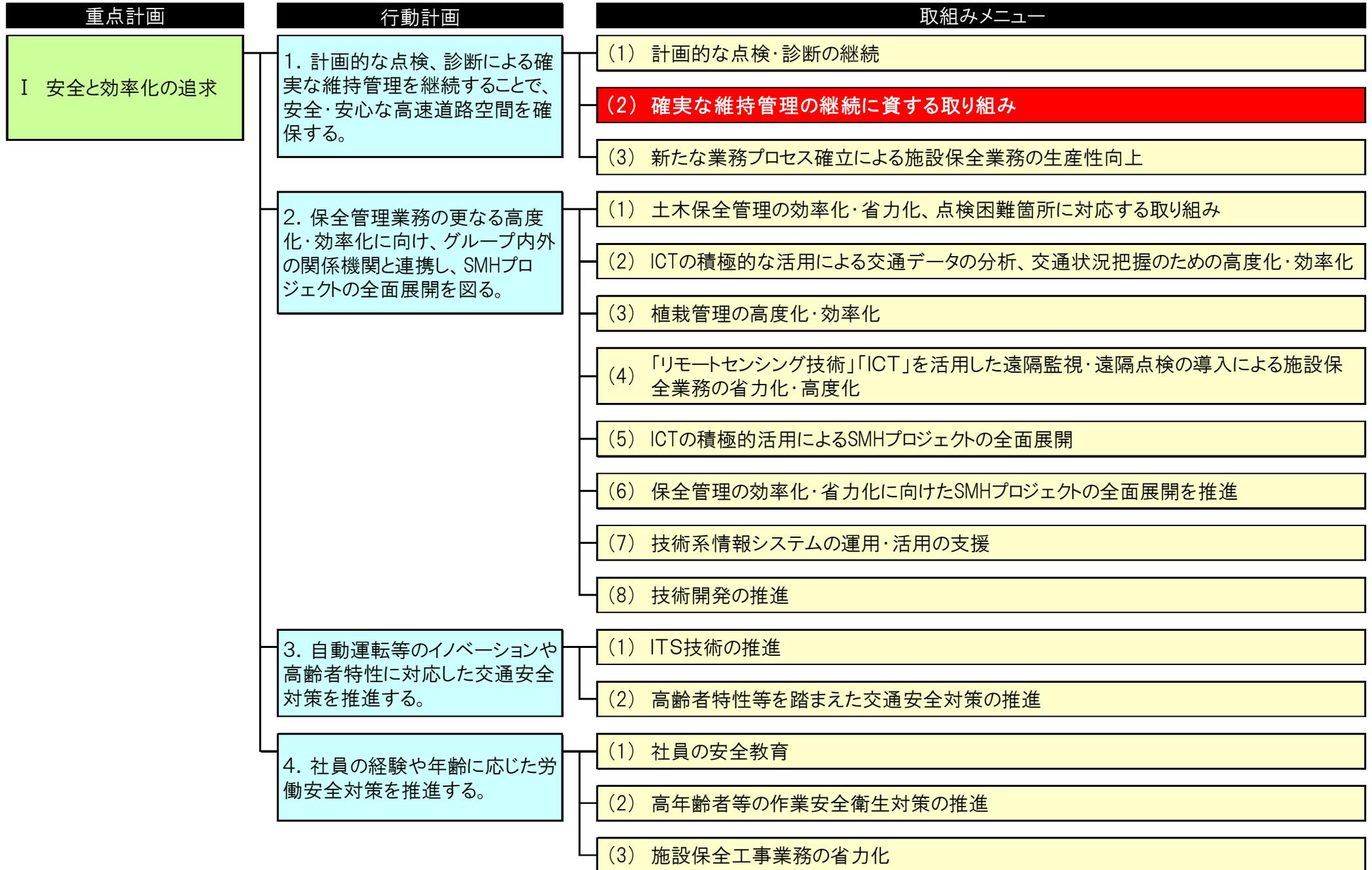
《大型点検車両の導入》



《合同判定会議による点検品質の向上》



# I. 安全と効率化の追求



# 1. 計画的な点検、診断による確実な維持管理を継続することで、安全・安心な高速道路空間を確保する

## (2) 確実な維持管理の継続に資する取り組み

◆ 特定更新事業、更なる耐震事業の促進に必要な、橋梁詳細調査を着実に実施

### 【特定更新事業(床版の詳細・補足調査)】

工種	単位	R3	R4	R5	R6	R7	R3-R7計
詳細・補足調査	橋	32	25	29	24	26	136

### 【更なる耐震補強事業(橋脚の塩分測定調査等)】

工種	単位	R3	R4	R5	R6	R7	R3-R7計
塩分測定調査等	基(脚)	110	220	354	672	127	1,483

コンクリートの塩化物イオン量測定  
《試料採取》



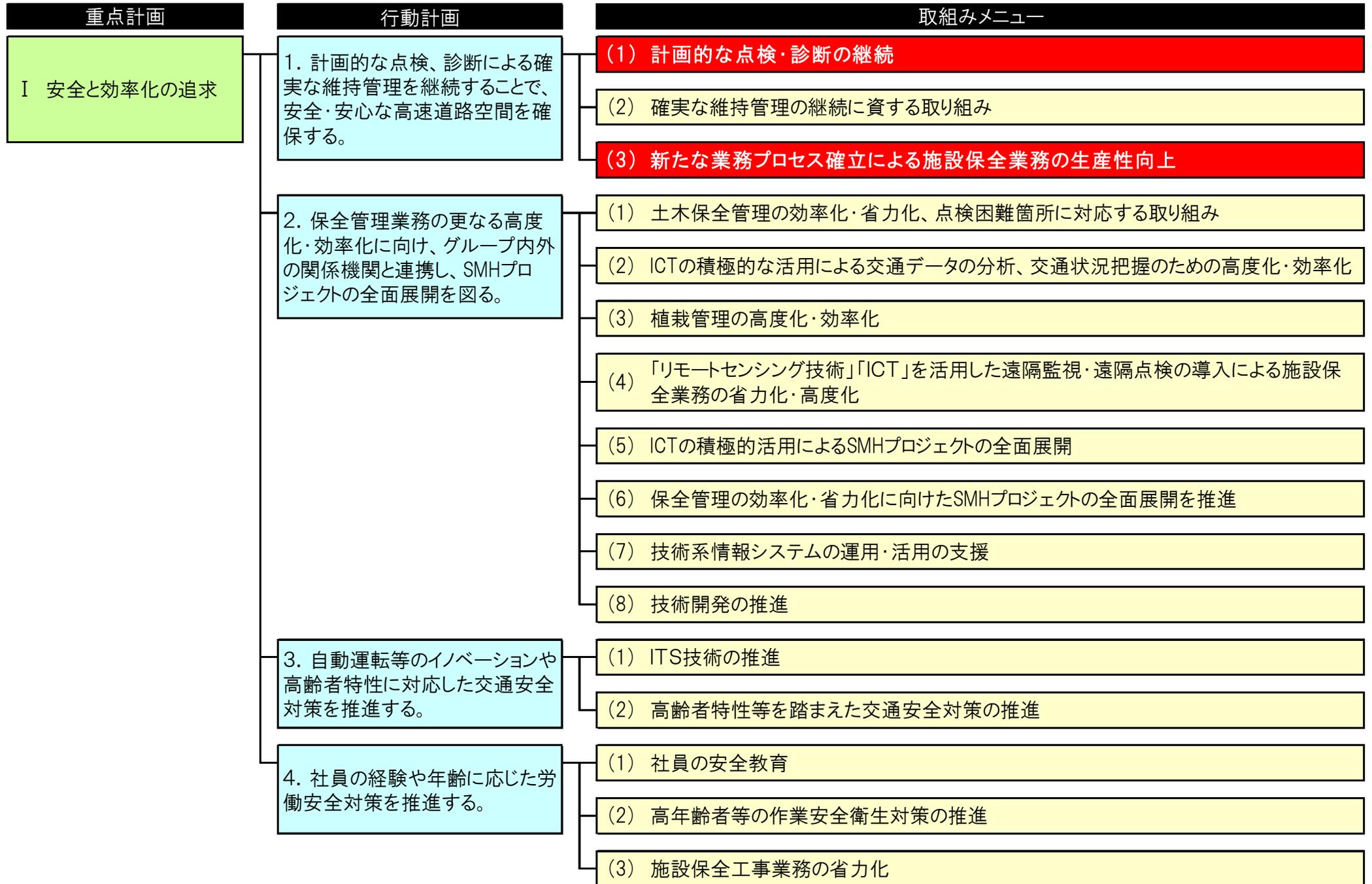
《分析試料作成》



《蛍光X線分析》



# I. 安全と効率化の追求



# 1. 計画的な点検、診断による確実な維持管理を継続することで、安全・安心な高速道路空間を確保する

## (1) 計画的な点検・診断の継続、(3)新たな業務プロセス確立による施設保全業務の生産性向上

### ◆ 施設点検の確実な実施

- 法定点検は法令を遵守し確実に実施。法定外点検は点検基準最適化による省力化を検討しながら、必要な点検を確実に実施。
- NEE(包括協定各業務)とNEXCO(維持管理マネジメント)の協働により、施設維持管理における「PDCAサイクル」の継続及び深化を図る。→ **施設SMH導入を基盤とした新たな業務プロセスの確立**
- 施設設備の最適な運用を図る。  
→ **施設稼働率の向上**

法令遵守や業務量平準化を考慮した点検計画の立案  
 <施設保全管理業務>

施設構造点検 工種	単位	R3	R4	R5	R6	R7	R3~R7累計
道路照明	灯	3,981	4,040	4,664	6,465	5,550	24,700
トンネル照明	灯	24,634	26,520	25,969	28,218	25,966	131,307
道路情報板	面	322	349	321	286	368	1,646
トンネル換気(ジェットファン)	台	119	119	119	119	119	595
ETC	設備数	796	558	776	959	847	3,936
建物	箇所	387	204	304	177	131	1,203



損傷劣化箇所の確実な補修・修繕  
 <施設保全工事>

P  
 点検計画策定

施設保全業務サイクル  
 (包括協定業務)

D  
 点検の実施

C  
 点検結果の  
 分析評価

A  
 補修・修繕

施設保全データ活用による点検基準の最適化  
 <施設保全管理業務>

遠隔監視・遠隔点検の導入による  
 施設保全業務の省力化・高度化  
 <施設保全管理業務>

施設更新設計の  
 確実な実施  
 <施設調査等業務>

NEXCO報告  
 (判定会議)

点検結果の報告  
 更新計画の提案  
 <施設保全管理業務>

A  
 更新計画  
 (管理水準)

P  
 事業計画策定

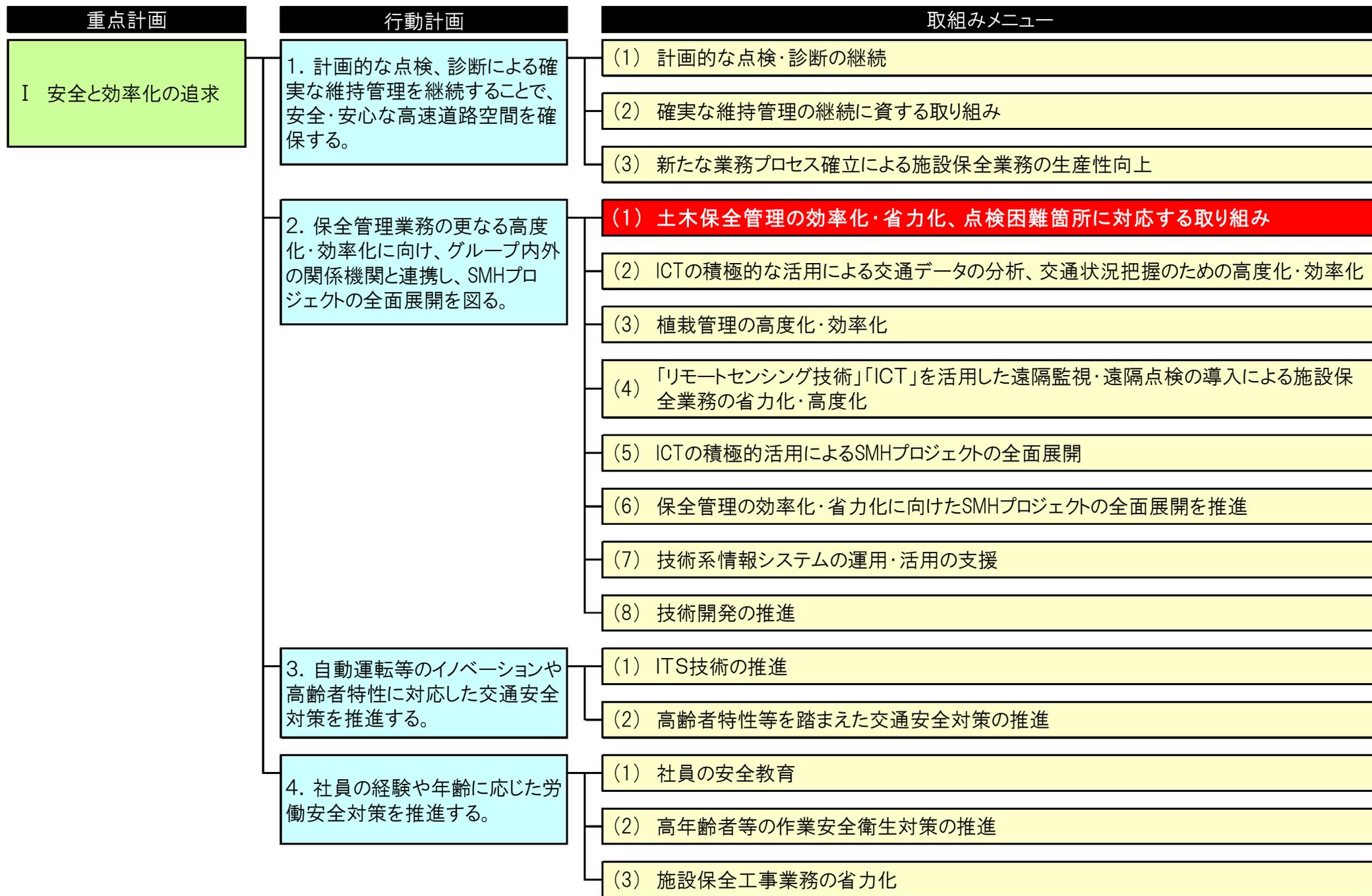
維持管理サイクル  
 (NEXCO)

D  
 設備更新

C  
 効果検証  
 (状態把握)

施設SMH導入を基盤とした  
 新たな業務プロセスの確立  
 <施設保全管理業務>

# I. 安全と効率化の追求



# 2. 保全管理業務の更なる高度化・効率化、SMHプロジェクトの全面展開を図る

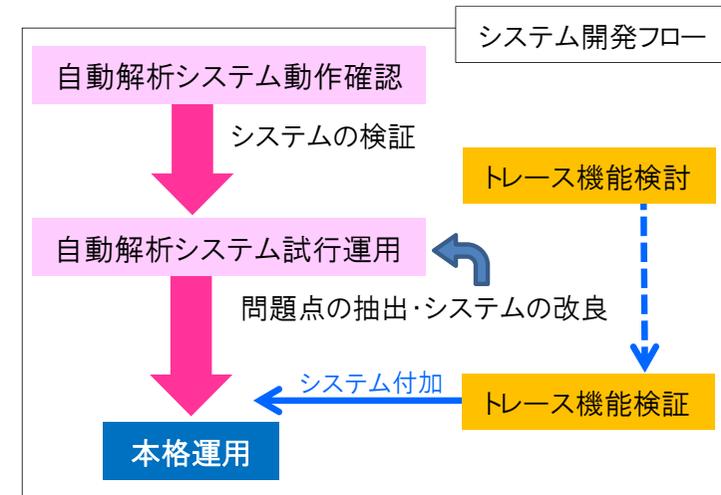
## (1) 土木保全管理の効率化・省力化、点検困難箇所に対応する取り組み

具体的施策	R3	R4	R5	R6	R7	備考
壁昇降ロボット 機能改善 スパイダーeye 打音機能の追加	試作機製作	検証・機能改良	運用			
赤外線カメラによる路面点検の高度化	解析精度検証	検証・機能改良	運用			
路面ひび割れ自動解析システム導入	プロト試行	改良・マニュアル作成	運用			
画像技術を活用する 新しい効率的な点検手法の提案	市場調査	導入計画策定	検証・効率化案作成	提案		
各種計測、調査業務における 省力化・効率化・遠隔化手法の検証導入	モニタリング技術・レーザースキャナ・グラウンドアンカー・緑化モバPC・水中ドローン					

### 赤外線カメラによる路面点検の高度化



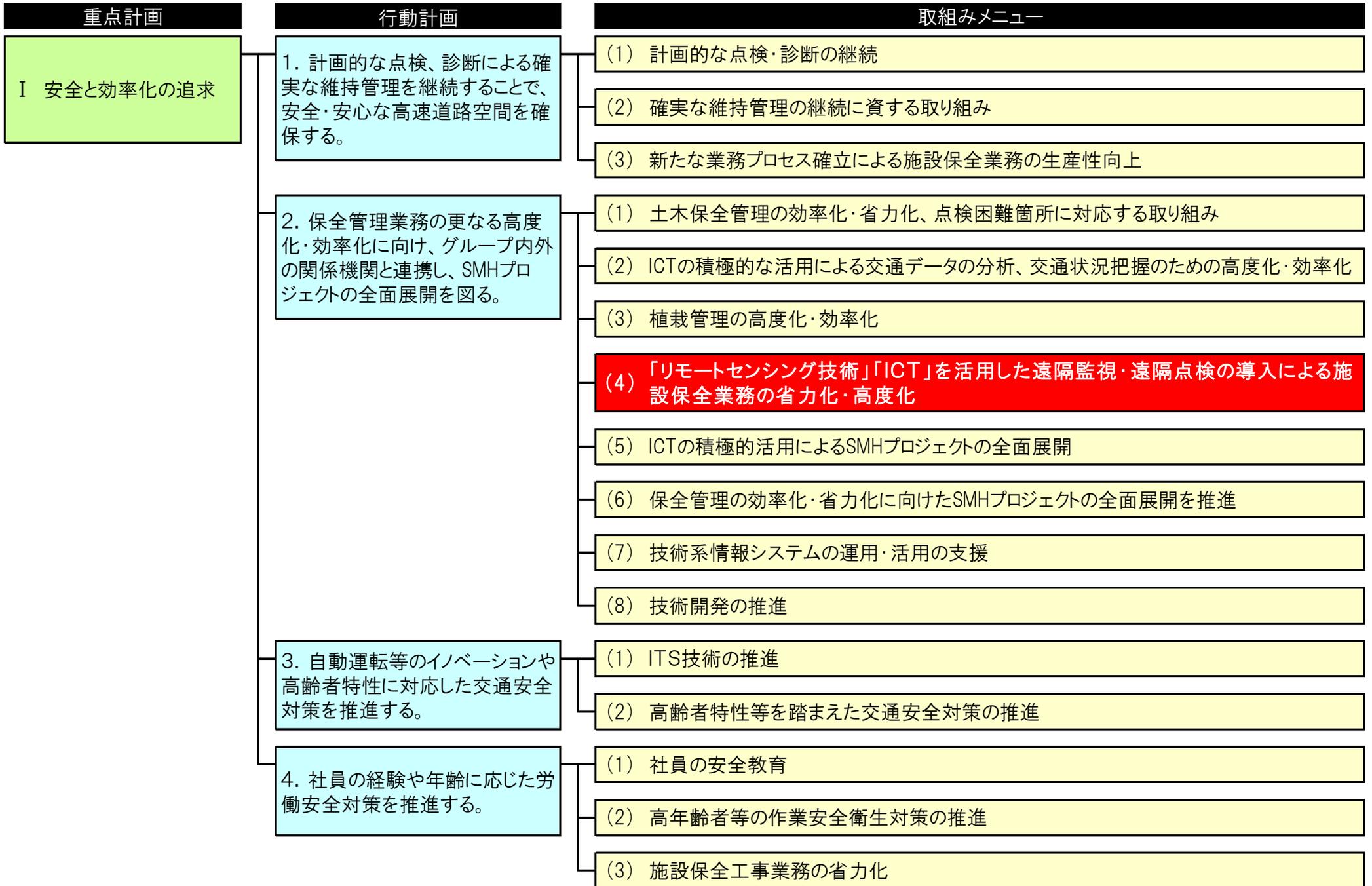
### 路面ひび割れ自動解析システム導入



### <目標>

深刻化する技術者不足に対応するため、中計期間に現場作業の生産性を5%向上させる。

# I. 安全と効率化の追求



## 2. 保全管理業務の更なる高度化・効率化、SMHプロジェクトの全面展開を図る

### (4) 『リモートセンシング技術』『ICT』を活用した 遠隔監視・遠隔点検の導入による施設保全業務の省力化・高度化

少子高齢化に伴う労働人口減少や老朽化資産増加の環境下においても、施設保全業務を確実に遂行するため、『リモートセンシング技術』や『ICT』の積極的活用により遠隔監視・遠隔点検の導入を進め、施設保全業務の効率化・高度化を図る。また、これら技術を新規供用区間や改良区間に導入することで点検要員を抑制し、施設組織を最適化する。

#### < 具体の取り組み >

資産数量が多い、作業負担が大きい等、高い効果が期待できる施設をメインターゲットとして、遠隔監視・遠隔点検・遠隔リセットの導入を進める。

- ◆ 『リモートセンシング技術』を活用した直流電源設備の遠隔点検
- ◆ 『モニタリング技術』を活用した受配電自家発電設備の日常点検リモート化 = “スマート保安化”
- ◆ 『AI・自己診断技術』を活用した道路情報板設備の遠隔モニタリング
- ◆ 非常電話の遠隔通話試験装置の開発及び導入

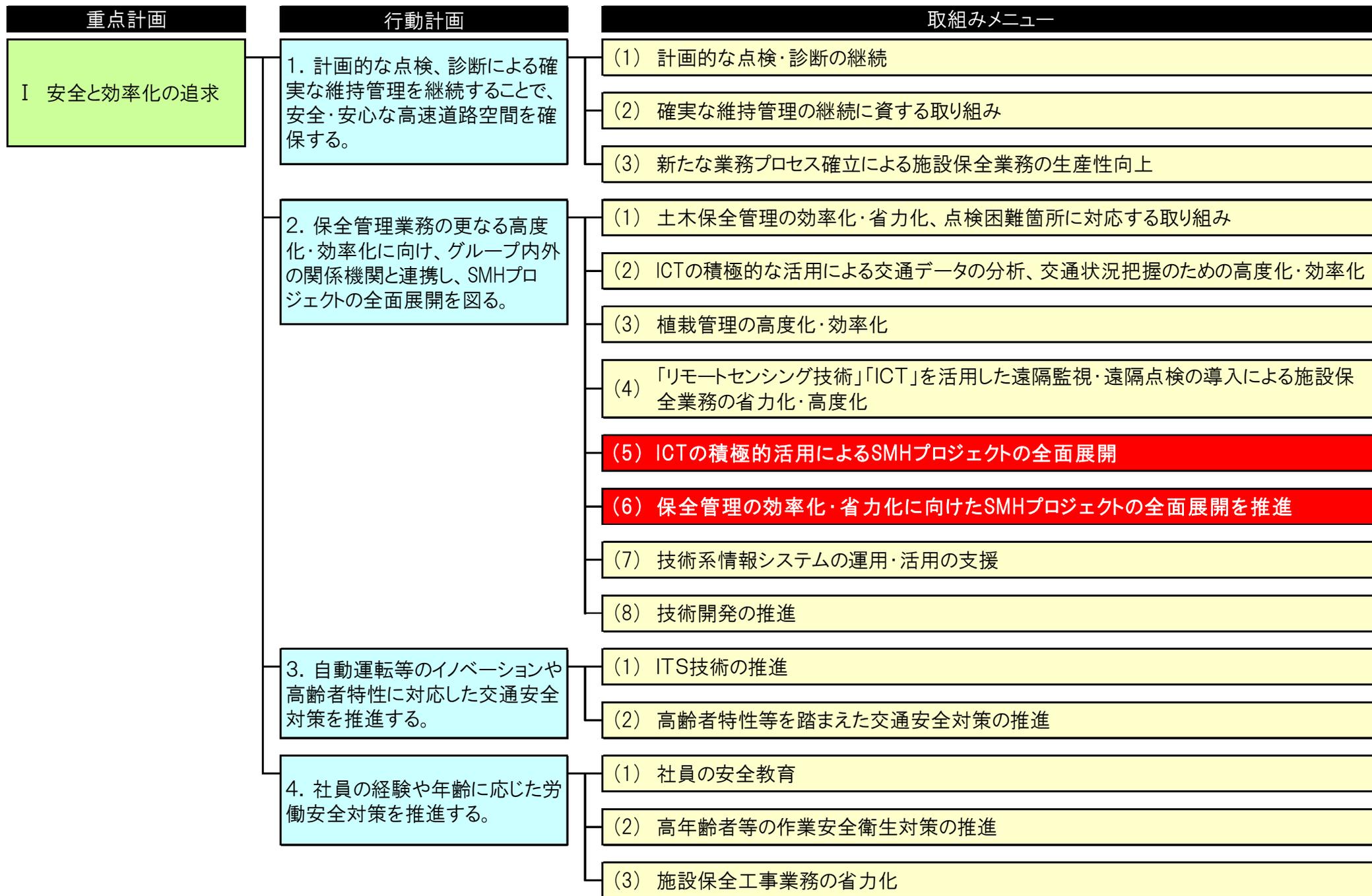


#### < 年度計画 >

具体の取り組み	R3	R4	R5	R6	R7	備考
直流電源設備の遠隔点検の導入	導入検討	試行評価		運用		
受配電・自家発電設備の日常点検リモート化		システム検討	試行評価	運用		
道路情報板設備の遠隔モニタリング導入	導入検討	試行評価		運用		
非常電話遠隔通話試験装置の開発及び導入	製品開発 評価検証			運用		

< 目標 > 深刻化する技術者不足に対応するため、中計期間に現場作業の生産性を5%向上させる。

# I. 安全と効率化の追求



## 2. 保安全管理業務の更なる高度化・効率化、SMHプロジェクトの全面展開を図る (5)ICTの積極的活用、(6)保安全管理の効率化・省力化に向けたSMHプロジェクトの全面展開を推進

### ○ SMHプロジェクトの全面展開(SMH第2期の導入及び業務への定着)

#### 〈具体的取組〉

- ◆ 第1期開発の振り返りを踏まえ作成したグランドデザインに基づき、次世代RIMSを構築し、R4年度開発完了を目指す。
- ◆ リリースした第1期SMHツールの確実な定着を図り、点検から補修に至るまでのアセットマネジメントによる生産性向上を目指す。
- ◆ 新点検管理・舗装・トンネル・のり面等アプリケーションを開発し、新たな業務フローの標準化を拡大する。
- ◆ 新たな点検支援システムの開発を着実に実施し、R5年度開発完了を目指す。
- ◆ 施設版BIツールの導入、インフラ管理要領に基づく評価を実施し、全体業務サイクル(アセットマネジメント)の定着を図る。
- ◆ 施設設備に関する全ての情報(点検・故障・補修・運転監視記録等)を一元管理し、必要なデータの迅速な取得を目的とした、施設基幹統合DBの構築及び運用を開始する。

#### ◆ 可視化アプリケーションの一例 (GISを活用したのり面モード)

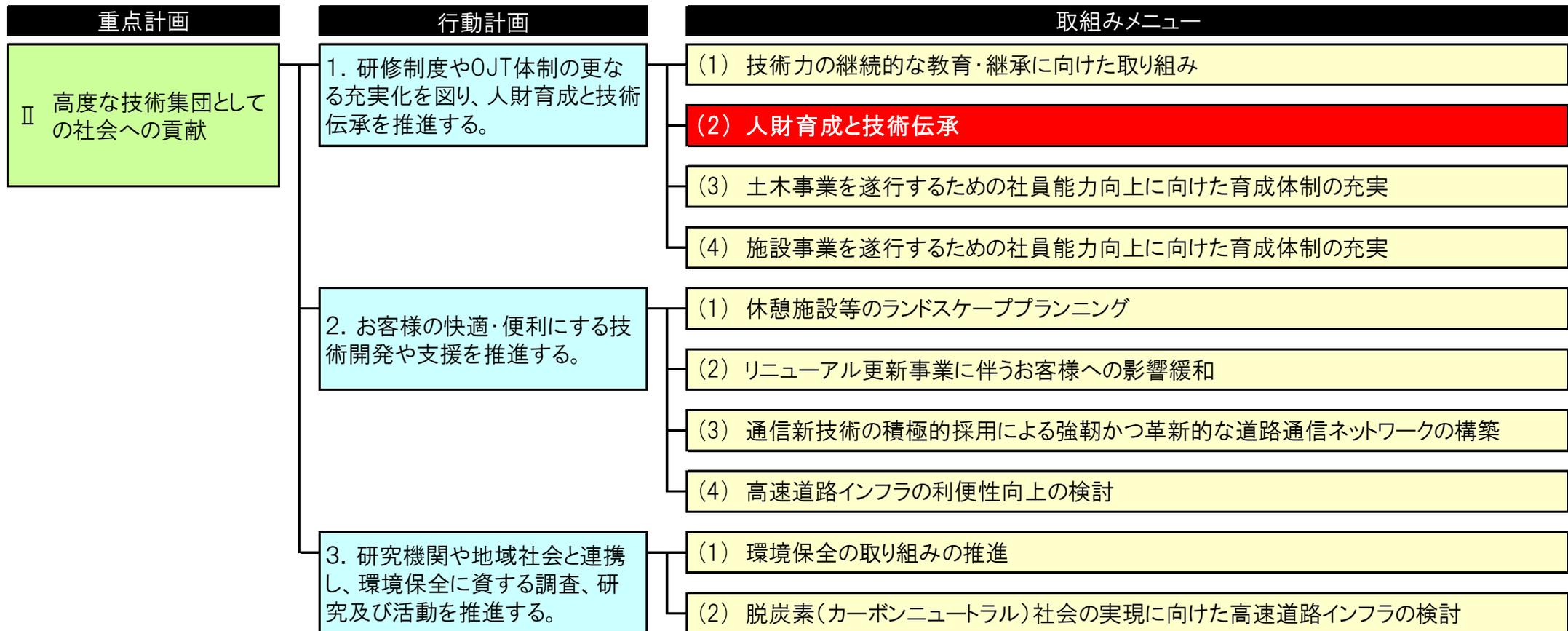


#### ◆ 施設SMH業務プロセス・システム構造の全体像 (将来形 (予兆) 含む)



具体的取り組み	R3	R4	R5	R6	R7	備考
次世代RIMSの構築	設計・構築			運用		
新たな点検支援システムの開発	開発		試行評価	運用		
施設基幹統合DBの構築	施設システム構築			基幹統合DB設計・開発		運用

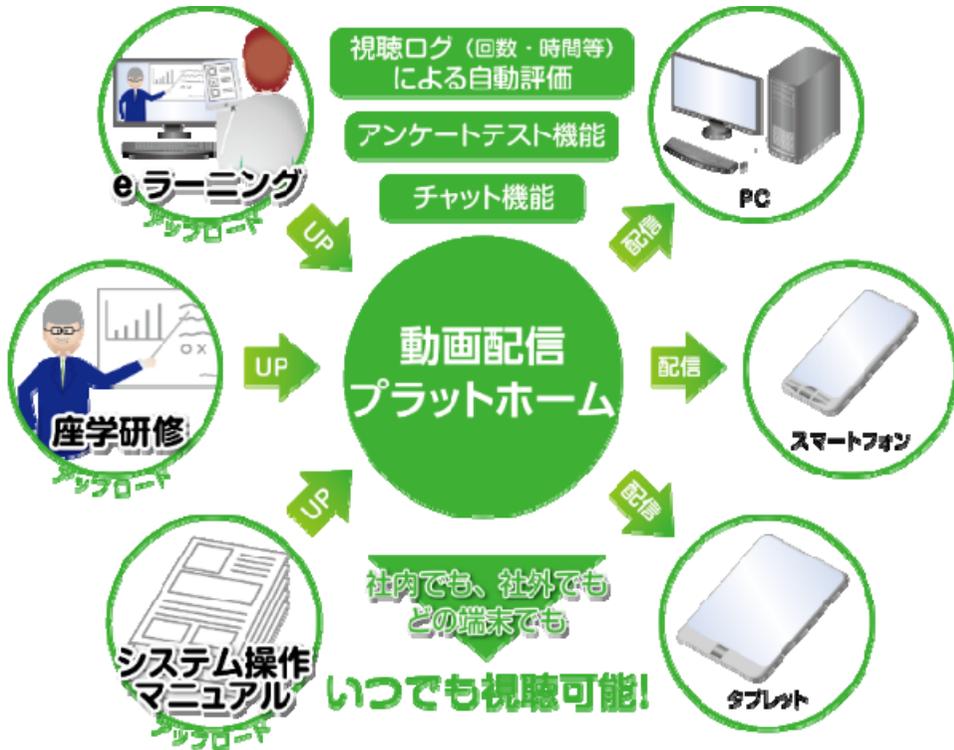
# Ⅱ. 高度な技術集団としての社会への貢献



# 1. 研修制度やOJT体制の更なる充実を図り、人財育成と技術伝承を推進する

## (2) 人財育成と技術伝承

オンライン研修の拡充 ⇒ 社員の能力向上のための研修の充実



### <<<現況の課題>>>

- いつでもどこでも何回でも学べる環境・ツールがない
- 日々の担当業務に追われる中で積極的に研修を受講しずらく、受講できなかった社員に対するフォローアップが不足している
- 職種別(土木、施設、事務)に研修を受講しているが、別の職種の研修を受講できない

### <<<得られる効果>>>

- PC、スマートフォン、タブレット等、**どんなツールでも閲覧が可能な動画配信プラットフォームの構築**
- eラーニング、座学研修(動画化)、安全管理(路肩規制他)、システム操作マニュアル(動画化)等、**様々な動画のコンテンツを一元管理**
- **いつでもどこでも何回でも視聴が可能、フォローアップとしても活用可能**
- 土木、施設、事務、システム等、**分野を問わず研修の受講が可能**

### ロードマップ

R3年度

- 動画配信プラットフォームの構築・試行運用
- eラーニングコンテンツの作成

R4年度

- 動画配信プラットフォームの運用開始
- eラーニングの試行運用

R5年度

- eラーニングの運用開始
- 動画・eラーニングコンテンツの拡充

R6年度

- 評価・改善

R7年度

- 継続的な実施

# Ⅲ. レジリエントな会社づくり

重点計画	行動計画	取組みメニュー
Ⅲ レジリエントな会社づくり	1. 大規模災害やポストコロナ時代における社会・経済環境の変化に対応するため、リスクマネジメントの一層の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="969 248 2179 312">(1) 大規模災害やパンデミック時の業務継続に向けた取り組み</li><li data-bbox="969 312 2179 376">(2) 防災対応力の強化</li><li data-bbox="969 376 2179 440"><b>(3) 防災機能の強化に資する技術支援</b></li><li data-bbox="969 440 2179 504">(4) 契約における公正性・透明性・競争性の向上</li><li data-bbox="969 504 2179 568">(5) 災害の激甚化に対応した高速道路インフラの強靱化</li><li data-bbox="969 568 2179 727">(6) 通信新技術の積極的採用による革新的な道路通信ネットワークの構築</li></ul>
	2. 持続的な企業価値向上のため、コーポレートガバナンスを強化し、高い企業倫理を保持する。	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="969 751 2179 895">(1) コプライアンスの遵守、企業倫理向上への取り組み</li></ul>
	3. 中長期の組織・要員の最適化検討に基づいた採用計画を継続し、経営基盤の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="969 919 2179 983">(1) 要員・人財の確保</li><li data-bbox="969 983 2179 1062">(2) NEXCOの付託に応え施設事業を遂行するための組織体制構築</li></ul>
	4. 社内システムの改善や業務のデジタル化を進め、生産性向上を推進する。	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="969 1086 2179 1150">(1) 社内管理システムの機能向上</li><li data-bbox="969 1150 2179 1214">(2) 社内情報セキュリティの向上</li><li data-bbox="969 1214 2179 1278">(3) 工事・施工管理・点検業務の品質管理の充実</li><li data-bbox="969 1278 2179 1398">(4) 施設保全工事業務の省力化</li></ul>
	5. 知的財産権の取得と自社開発製品の販売を積極的に展開する。	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="969 1422 2179 1485">(1) 知的財産権の取得推進</li><li data-bbox="969 1485 2179 1560">(2) 会社製品の販売・営業活動の推進</li></ul>

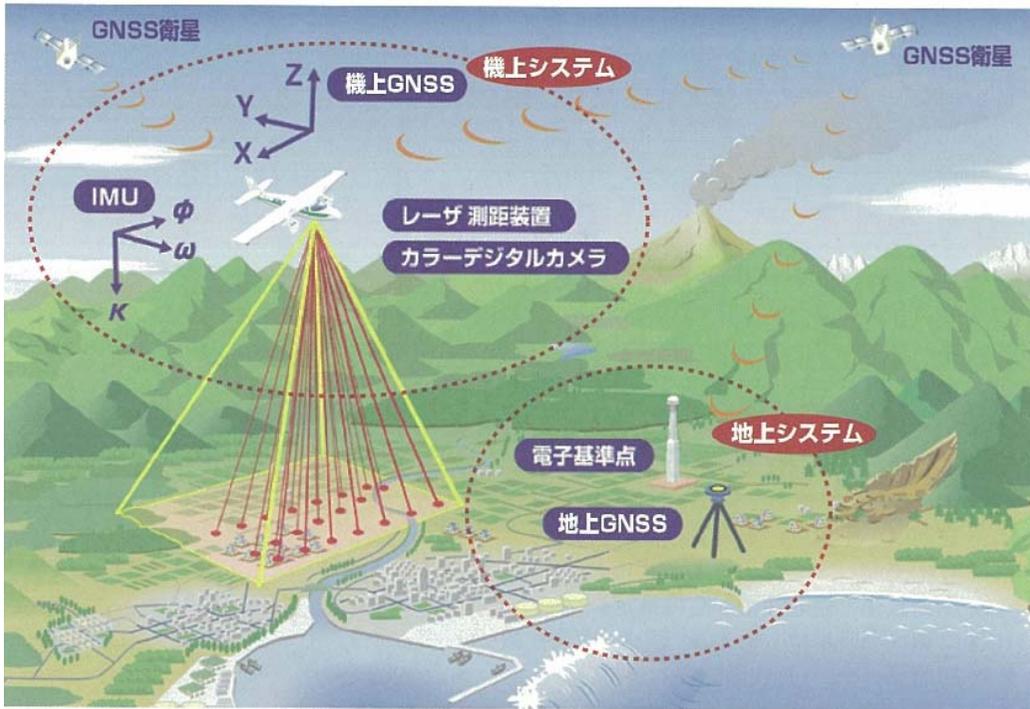
# 1. 大規模災害やポストコロナ時代における社会・経済環境の変化に対応するため、リスクマネジメントの一層の強化を図る

## (3) 防災機能の強化に資する技術支援

### ○ 区域外災害リスク箇所の対策検討の支援（R4～エンジ協定予定）

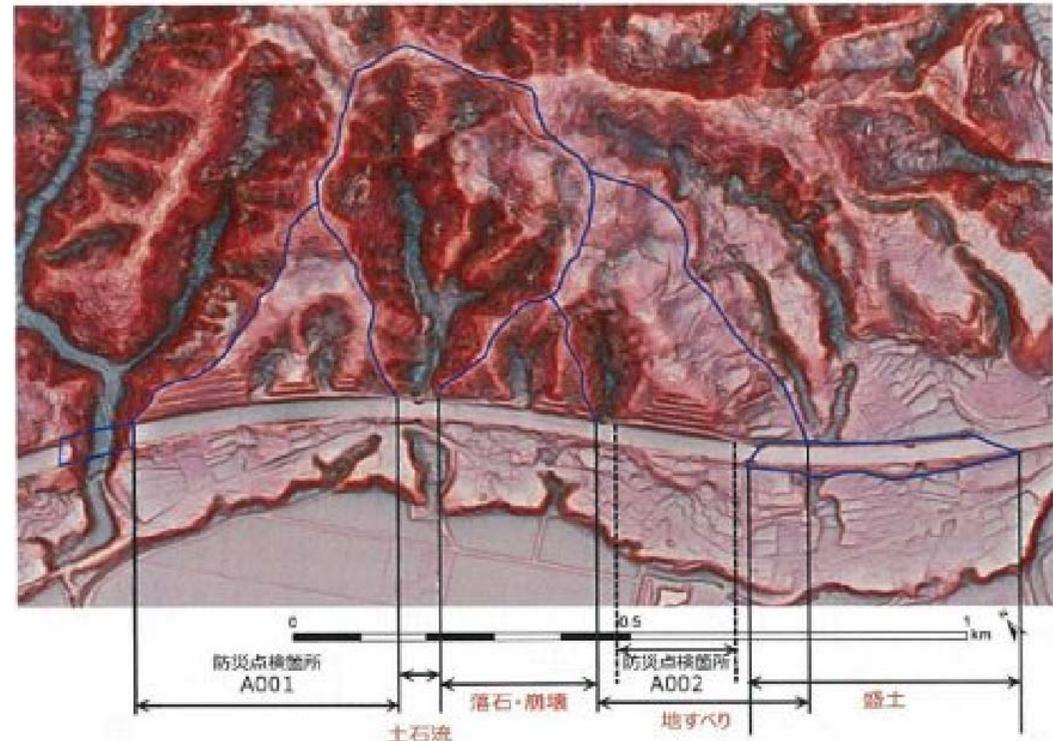
- NEXCO中計の防災に関する重点施策について支援する
- リスク管理台帳の作成、対策計画策定（経過観察、対策工事等）

### 【 災害リスク箇所抽出 】



※航空レーザ計測は、衛星・機上・地上の3つのシステムにより実施される。

《 航空レーザ測量の実施 》



《 災害リスク箇所の抽出 》

# Ⅲ. レジリエントな会社づくり

重点計画	行動計画	取組みメニュー
Ⅲ レジリエントな会社づくり	1. 大規模災害やポストコロナ時代における社会・経済環境の変化に対応するため、リスクマネジメントの一層の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大規模災害やパンデミック時の業務継続に向けた取り組み</li> <li>(2) 防災対応力の強化</li> <li>(3) 防災機能の強化に資する技術支援</li> <li>(4) 契約における公正性・透明性・競争性の向上</li> <li>(5) 災害の激甚化に対応した高速道路インフラの強靱化</li> <li>(6) 通信新技術の積極的採用による革新的な道路通信ネットワークの構築</li> </ul>
	2. 持続的な企業価値向上のため、コーポレートガバナンスを強化し、高い企業倫理を保持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コプライアンスの遵守、企業倫理向上への取り組み</li> </ul>
	3. 中長期の組織・要員の最適化検討に基づいた採用計画を継続し、経営基盤の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 要員・人財の確保</li> <li>(2) NEXCOの付託に応え施設事業を遂行するための組織体制構築</li> </ul>
	4. 社内システムの改善や業務のデジタル化を進め、生産性向上を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 社内管理システムの機能向上</li> <li>(2) 社内情報セキュリティの向上</li> <li><b>(3) 工事・施工管理・点検業務の品質管理の充実</b></li> <li>(4) 施設保全工事業務の省力化</li> </ul>
	5. 知的財産権の取得と自社開発製品の販売を積極的に展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 知的財産権の取得推進</li> <li>(2) 会社製品の販売・営業活動の推進</li> </ul>

# 4. 社内システムの改善や業務のデジタル化を進め、生産性向上を推進する

## (3) 工事・施工管理・点検業務の品質管理の充実

### ○ デジタル野帳「eYACHO」を活用した生産性向上に向けた取り組み

- 各業務の効率化・ペーパーレス化のため「eYACHO」を活用し生産性向上を図る
- NEXCO東日本グループの導入・運用・様式作成等を支援する

### ◆ eYACHO導入予定様式

- 安全パトロール報告書
- 立会報告書
- 部分使用検査書類
- 点検報告書(基本点検も含む)
- 電気・水道検針票
- 夜間工事引継書
- 出来形調書(舗装工事)
- 施設等損傷・故障報告書
- 光通信ケーブル等損傷事故防止チェックリスト 等

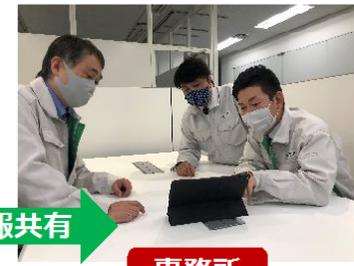
離れた場所で即時に情報共有

- 図面等資料に複数人が同時に書き込んで情報共有



現場

書き込み

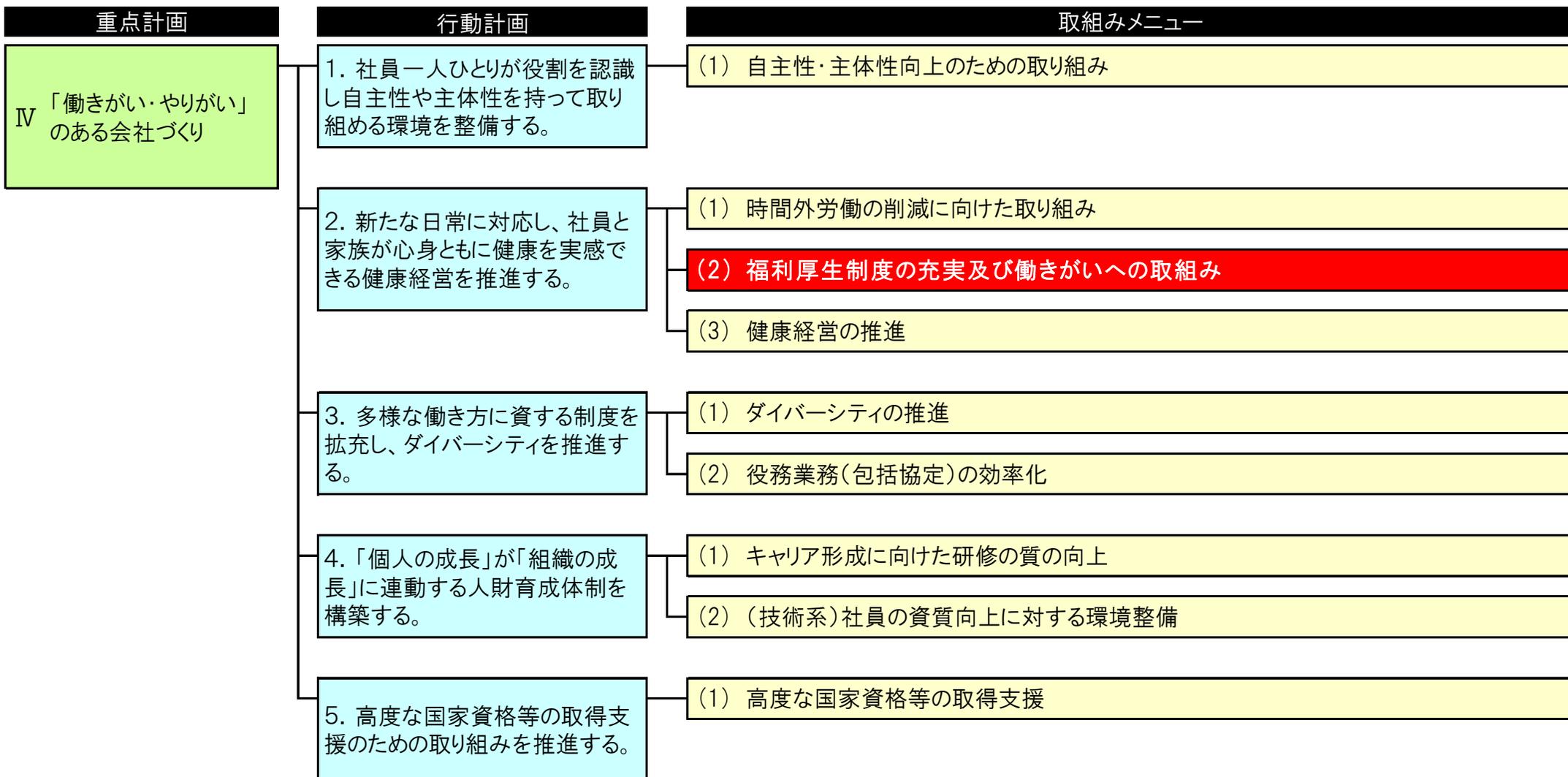


事務所

情報共有

《 迅速な情報共有 》

# IV. 「働きがい・やりがい」のある会社づくり



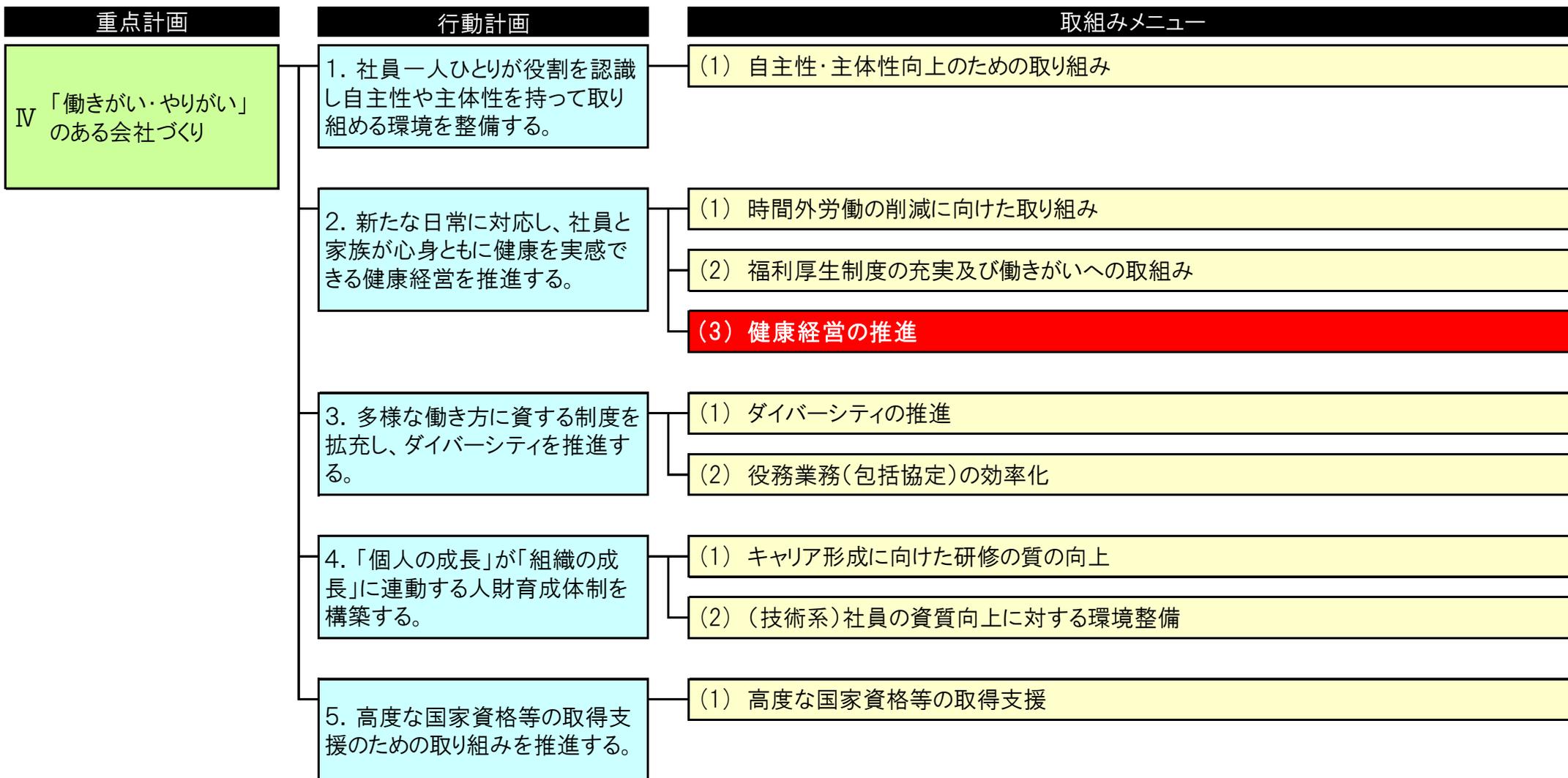
## 2. 新たな日常に対応し、社員と家族が心身ともに健康を実感できる健康経営を推進する

NEXCO

### (2) 福利厚生制度の充実及び働きがいへの取組み（ワークライフバランスの充実）

- R3.4から新たなライフプラン支援制度の導入として選択制企業型確定拠出年金を開始し、社員向けの投資セミナー開催や説明会等を実施。
- 社員の資産形成や介護に係る課題解決をサポートするため、
  - ①ライフプランシミュレーション
  - ②各種セミナー（年代別、住宅・セカンドライフ・結婚・教育等のテーマ別）
  - ③ファイナンシャルプランナーとの相談等のライフプランニングサービス提供を検討・実施。

# IV. 「働きがい・やりがい」のある会社づくり



## 2. 新たな日常に対応し、社員と家族が心身ともに健康を実感できる健康経営を推進する

### (3) 健康経営の推進 (健康管理、メンタルケアの継続)

- 全社員を対象とした外部機関のストレスチェックを実施し、各職場環境改善を図るとともに、高ストレス者については産業医との面接を実施。
- (a)長時間労働の削減 (b)休暇取得率の向上 (c)健康診断受診率の向上 (d)インフルエンザ予防接種率の向上
- 新型コロナウイルス感染予防対策について継続的に実施。
- NEE健康経営宣言に基づく3つの重点項目に対し継続的に取り組み、「健康経営優良法人ホワイト500」の認定継続を目指す。

#### (a) 長時間労働の削減…前年度実績以下

区分	H29	H30	R元	R2
総労働時間	2,036	2,014	1,930	1,859
時間外勤務	26:50	29:03	25:44	21:09

#### (c) 健康診断受診率の向上…前年度実績を維持

区分	H29	H30	R元	R2
健康診断等受診率	98.4%	99.0%	100%	100%

#### (b) 年次休暇取得の向上…前年度実績以上

区分	H29	H30	R元	R2
取得日数	7.4	8.9	10.9	12.6

#### (d) インフルエンザ予防接種受診率の向上…前年度実績以上

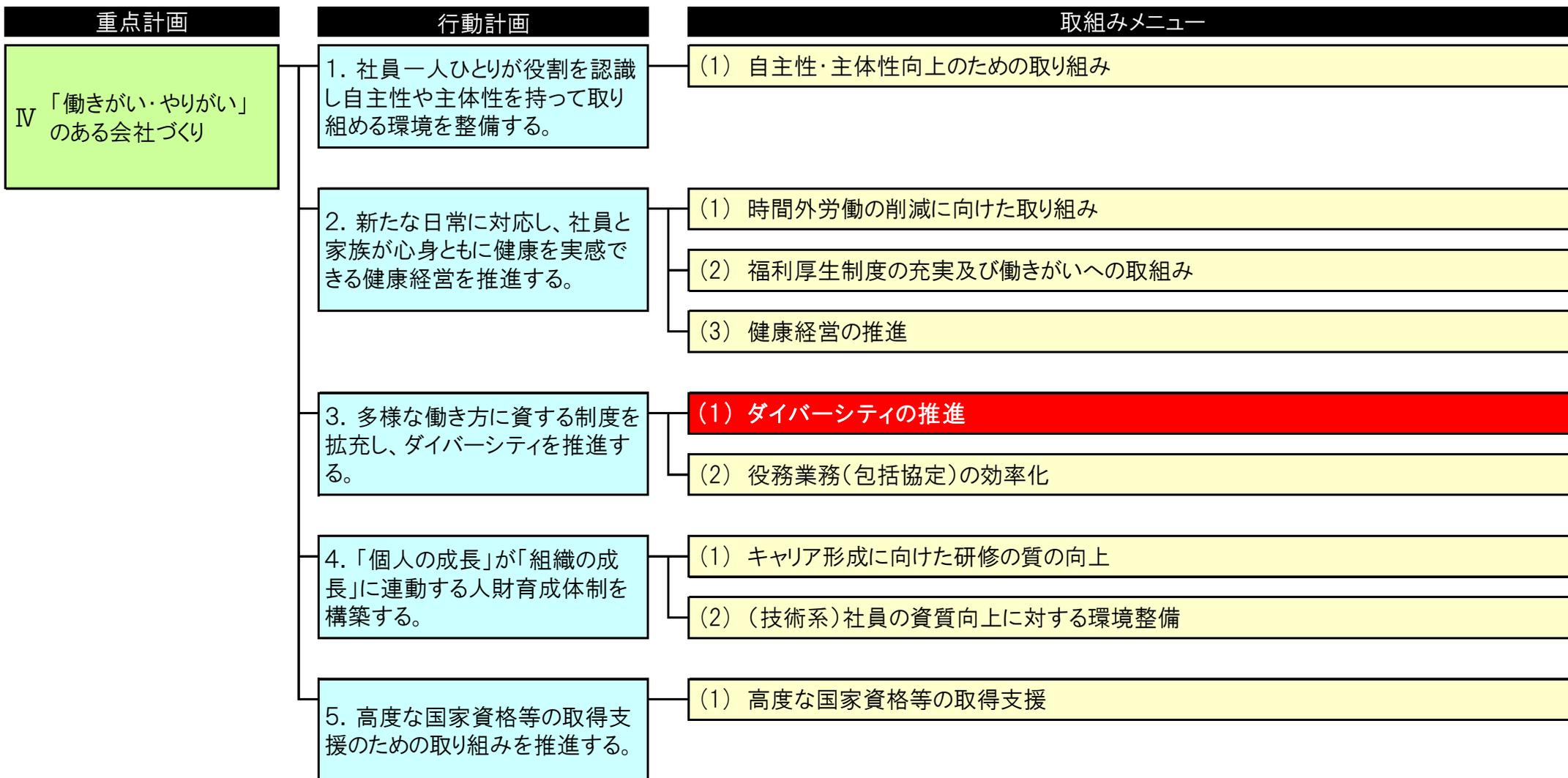
区分	H30	R元	R2
インフルエンザ予防接種率	63.7%	81.8%	89.1%

※コロナ感染とのツインデミックを防ぐ観点から、集団接種に努めるなど接種率の向上を図る。

#### NEE健康経営宣言 重点項目



# IV. 「働きがい・やりがい」のある会社づくり



### 3. 多様な働き方に資する制度を拡充し、ダイバーシティを推進する

NEXCO

#### (1) ダイバーシティの推進

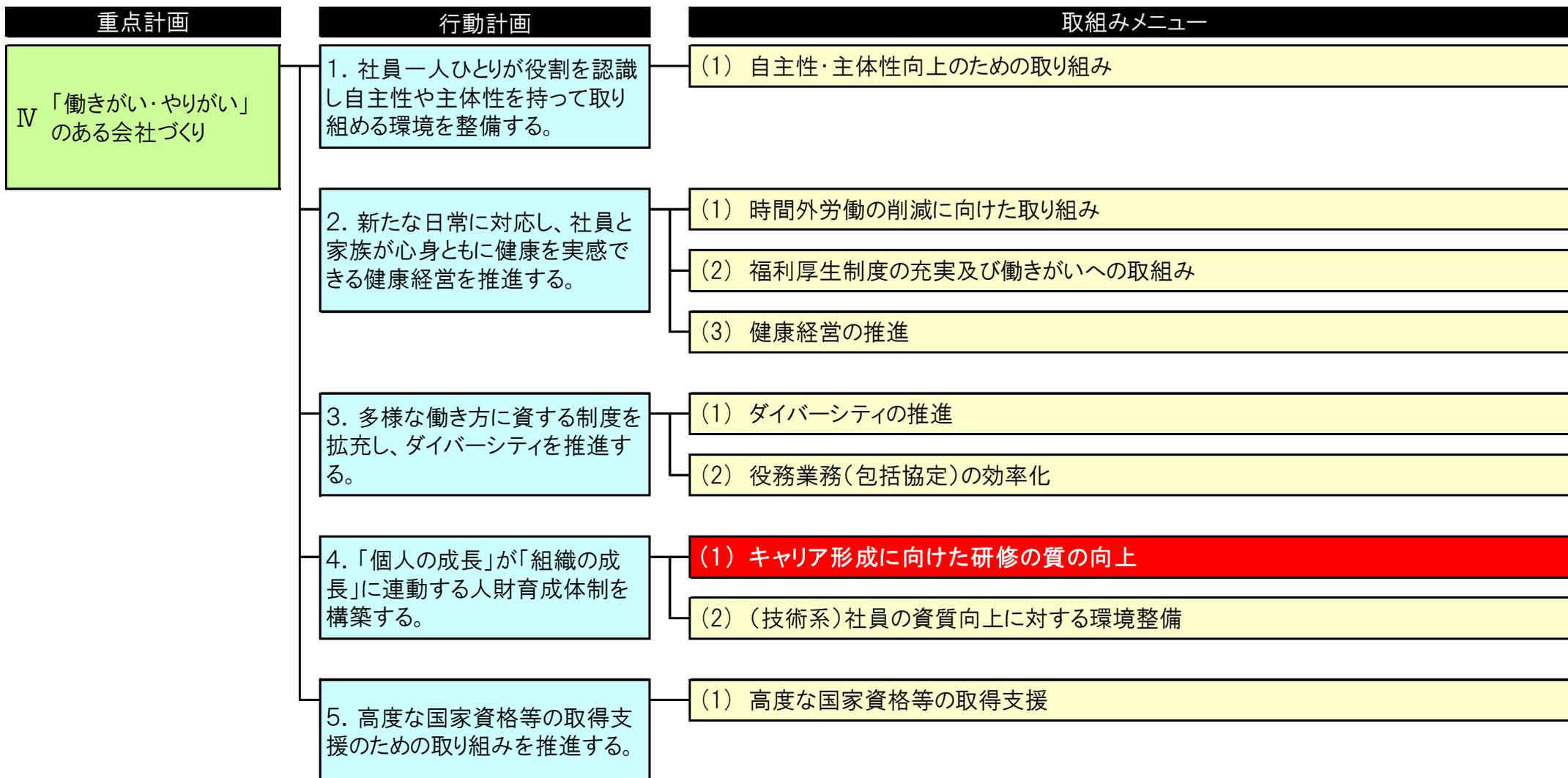
##### ◆高年齢者の就業機会拡大の検討

- 高年齢者雇用安定法改正に合わせ、適正・最適な雇用制度、就業規則、給与規程等について、NEXCOや各グループ会社の動向も踏まえ改正し、就業機会の拡大施策について検討を進める。



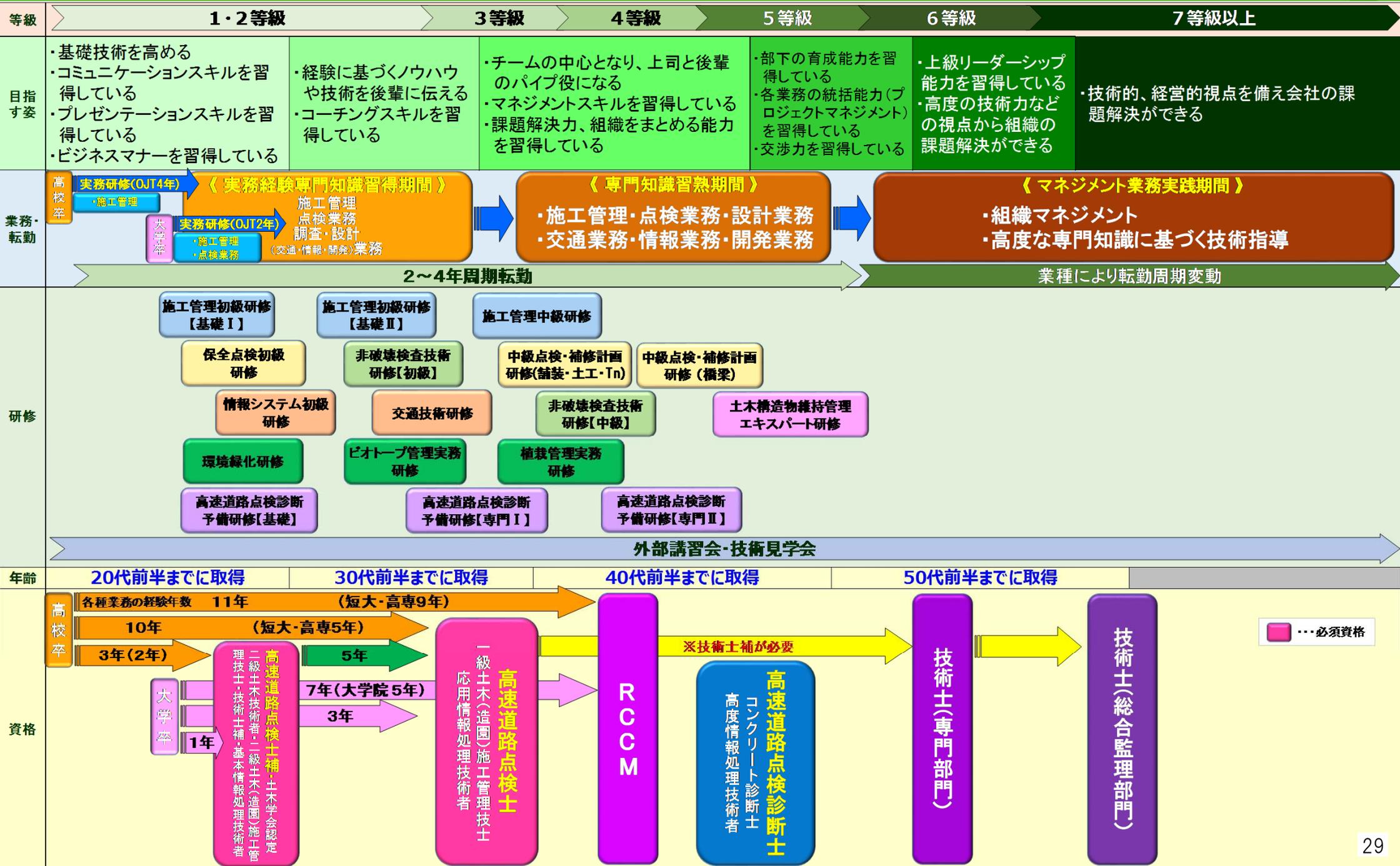
高年齢者等の就業機会の拡大

# IV. 「働きがい・やりがい」のある会社づくり



# 4. 「個人の成長」が「組織の成長」に連動する人財育成体制を構築する

## (1) キャリア形成に向けた研修の質の向上(土木)



# 4. 「個人の成長」が「組織の成長」に連動する人財育成体制を構築する (1) キャリア形成に向けた研修の質の向上(施設)

等級	1・2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	7等級以上
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎技術を習得している</li> <li>コミュニケーションスキルの基礎を習得している</li> <li>プレゼンテーションスキルの基礎を習得している</li> <li>ビジスマナーの基礎を習得している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験に基づくノウハウや技術を後輩に伝える</li> <li>コーチングスキルの基礎を習得している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの中心となり、上司と後輩のパイプ役になる</li> <li>マネージメントスキルの基礎を習得している</li> <li>課題解決力、組織をまとめる力の基礎を習得している</li> <li>TTC講師スキルの基礎を習得している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部下の育成ができる</li> <li>各業務を統括(プロジェクトマネージメント)できる</li> <li>内外に向けての交渉ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップを発揮できる</li> <li>高度な技術力で組織の課題解決ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術的、経営的視点を備え会社の課題解決ができる</li> </ul>
業務・転勤	<p>《基礎知識習得期間》</p> <p>3～5年周期転勤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設施工管理</li> <li>施設安全管理</li> <li>施設保全工事</li> <li>施設調査・設計</li> </ul>			<p>《専門知識習熟期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設施工管理</li> <li>施設安全管理</li> <li>施設保全工事</li> <li>施設調査・設計</li> </ul>		<p>《マネジメント業務実践期間》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織マネジメント</li> <li>高度な専門知識に基づく技術指導</li> </ul> <p>業種により転勤周期変動</p>
研修	<p>■基礎研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ETC設備</li> <li>IP技術</li> <li>光ケーブル接続技術</li> <li>メタルケーブル接続技術</li> <li>受配電設備</li> <li>自家発電設備</li> <li>トンネル非常用設備</li> <li>施設路上設備</li> <li>施設施工管理</li> </ul>	<p>■初級研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ETC設備</li> <li>IP技術</li> <li>受配電設備</li> <li>自家発電設備</li> <li>トンネル非常用設備</li> <li>施設路上設備</li> <li>建築職</li> </ul>	<p>■中級研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ETC設備</li> <li>IP技術</li> <li>受配電設備</li> <li>自家発電設備</li> <li>施設構造点検</li> <li>施設路上設備</li> <li>建築職</li> </ul>			
年齢	20代終盤までに取得 →			30代終盤までに取得 →		40代中盤までに取得 →
資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路点検士補</li> <li>二級建築士</li> <li>二級施工管理技士</li> <li>第一級陸上特殊無線技士</li> <li>工事担任者(総合種)</li> <li>第二種電気工事士</li> <li>浄化槽管理士</li> <li>基本情報処理技術者</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路点検士</li> <li>一級施工管理技士</li> <li>第一級陸上無線技術士</li> <li>伝送交換主任技術者</li> <li>第一種電気工事士</li> <li>第三種電気主任技術者</li> <li>ROOM</li> <li>技術士補</li> <li>応用情報処理技術者</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路点検診断士</li> <li>一級建築士</li> <li>技術士</li> <li>第二種電気主任技術者</li> <li>高度情報処理技術者</li> </ul>
社内専門研修・外部講習会・技術見学会						

# 4. 「個人の成長」が「組織の成長」に連動する人財育成体制を構築する

## (1) キャリア形成に向けた研修の質の向上(事務)

